

2017年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部                      国際社会科学科                      2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。  ノースカロライナ州立大学シャーロット校
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。  2017年      10月      1日    ～      2018年      9月      30日 出国日      2017年      8月      15日 最終帰国日      2018年      5月      12日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

#### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

まずは英語力の向上としては、授業内容は苦勞することも多かったです。きちんと向き合えたかなと思います。日常会話としては、日本の他校からの留学生が多いこともあり、日本語を話す機会も多く、もっと自分に厳しくもできたのではないかと思います。英語を学ぶにいくという意味では、少し日本語が多かったという反省点があります。

その中でも様々な人に出会い、それぞれの考えや価値観を知ることができました。そのような考え方があるのかということの連続で、これらの考えを学べただけでも、留学の意味はあったかなと思います。また、アメリカの文化やしきたりも肌で経験することができて、楽しかったです。

#### (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

もっと明確な目標をたてておけばよかったと思います。毎日を過ごす中で、だらだらと過ごしてしまう日々もありました。帰るまでにはこれをする、帰国後のためにこれをするなど、もっと毎日を有意義に過ごすことをしたかったです。

また、何度かスーツを着る機会があり、私は日本から持ってきていなかったのが急いで買いそろえました。洋服や日用品に関しては、使わないだろうと思ってもあらゆる場合にそなえて準備する必要があると思います。

### 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

アメリカの授業は、とにかく学生が真面目という印象があります。せっかく授業を受けに来ているのだから、全力で参加しています。質問や意見があれば授業後まで待つのではなく、その場で手を挙げて発言します。それに対して誰も批判することなく、教授からもそのような姿勢を尊敬してもらえます。学生にとって、授業を素直に受けやすい場所だと感じました。私は各授業のいちばん最初に、自分が留学生であり、英語は母国語ではないということを教授に伝えました。だからといって特別扱いを受けることはありませんでしたが、授業についてきているかの確認をしてくださる教授もいました。また、日本の話題になったときは、私に質問してくださったりもし、学生の立場を考えてくださる教授が多かったように思います。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

ノースカロライナ州立大学シャーロット校は、アメリカの中では決して大きい方ではないはずですが、日本と比べるとキャンパスはとにかく広いです。学期の初めは、教室をみつけるのが本当に大変でした。図書館やジムなどはとても大きく設備が整っていて、すべて無料で使用できます。ダイニングホールやスターバックスやサブウェイなどもあり、食事がとれるところもたくさんあります。緑も豊かで、天気がいい日にはよく散歩をしていました。また、キャンパスのどこの部分をとっても車いす用に作られています。エレベーターはもちろん、スロープやボタン一つ押すだけでドアが自動であくなど、とても感動しました。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生用のオフィスがあり、月曜日から金曜日までなんでも気軽に相談することができます。また、Eメールでの相談もできるので、わからないことがある場合はよく利用していました。学期のはじめにはウェルカムパーティー、毎月第1木曜日と第3木曜日にはコーヒーが無料で配られ、他の留学生と交流できるというイベントがありました。他国からの留学生も多く、このような催し物も多いので、留学するにはいい環境だと思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

### (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

特別悪いというわけではありませんが、夜1人で歩くことは絶対にできません。複数いる場合も、女子だけのときは十分気を付けた方がいいと思います。学期中に、学校から、

不審物などの注意情報のメールが一斉送信されてくるときはよくありました。1人で歩くときは、気をつねに張っていることが必要です。

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

ノースカロライナ州という位置上、いろいろな人種の人があります。母国語が英語でない人もたくさんいますし、3か国語以上話することができる人もたくさんいました。アジア系アメリカ人もたくさんいるので、日本人が歩いていても違和感には捉えられないと思います。逆に、留学生だということを自ら伝えないと、現地の学生として扱われるので、私は毎回必ず自分が留学生であるということを主張していました。

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Comparative Politics (3)	
Introduction to Sociology (3)	
Economics of Social Issues (3)	
Japanese LA	
International Studies (3)	
Principles of Macroeconomics (3)	
General Psychology (3)	
Global Connections (3)	

**3. 宿舎について**

**(1) 種類**

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

**(2) 家賃**

月額 (現地通貨) 約 \$1,050 、(日本円) 約 115,500 円

**(3) 食事**

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ( )

**(4) 大学までの交通手段、所要時間**

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( )、計 分

**(5) 感想、良かった点・悪かった点**

まずはインターナショナル寮だったので、留学生同士で交流しやすく、友達がたくさんできました。寮の廊下には各国の国旗があり、デザインが素敵です。また、授業がある建物までとても近く、歩いて10分もかからずにいけるのでとても楽でした。

トイレやシャワーなどは素晴らしいわけではありませんが、最低限の設備はあると思います。私が住んでいた寮は少し古かったので、ほかの寮はもっときれいでした。

キッチンのついていないスイートタイプに住むと、学校のミールプランに入らないといけないので、逆に高くつくと思います。

#### 4. 費用について

##### (1) 学 費

(現地通貨) 約           、(日本円) 約            円

##### (2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 (            )、(日本円) 約        200.000 円

##### (3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約    1500           、(日本円) 約    165,000 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

##### (4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 (            )

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

到着してすぐ現地の銀行にいき、口座をあげ、自分のカードを作りました。キャッシュレスで生活することができたので、とても楽でした。現金ももっていましたが、使うことはほとんどありませんでした。

##### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

#### 5. 保険について

##### (1) 保険会社名

BlueCross BlueShield

##### (2) 保険料

270,000 円

##### (3) 加入した保険の種類、内容

現地大学指定の保険

##### (4) 感想、良かった点・悪かった点

UNCC の保険に入りました。一度体調を崩した際に病院にいきましたが、保険のおかげでお金がかかることはありませんでした。

#### 6. 荷物について

##### (1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ( )

(2) 持って行って良かったと思う物

化粧品類、常備薬、脱臭剤、生理用品、お箸

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

(4) 持って行けば良かったと思う物

日本食、スーツ、フォーマル用の靴

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

3時ごろまでは授業があり、その後は図書館で勉強したり、ジムにいたりしていました。家やキャンパスで食事をすませることもあれば、友達とご飯を食べに行くこともありました。

(2) 週末

金土はほとんどの人が街で遊んだり、ホームパーティーにいたりします。日曜日はためてしまった課題や洗濯を主にしていました。

## 8. 後輩へのアドバイス等

アメリカの文化というのは存分に経験できると思います。前回の報告書に書きましたが、電車が開通して、アップタウンとの接続がよくなり、より楽しい留学生活が送れると思います。なにか質問や、わからないことがあれば、なんでも聞いてください。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。